

# 広野町二ツ沼総合公園直売所



## 利用組合員紹介

第4回

今年5月3日に広野町二ツ沼総合公園直売所がオープンしました。  
消費者の皆さんに新鮮、安全、安心な農作物を提供するため日々生産に励んでいる組合員を毎月シリーズで紹介します。今回はシリーズ第4回です。

- ①組合員氏名
- ②どんな物を出荷していますか？
- ③直売所に出荷してみたの感想は？



### ① 根本 登代子 さん

- ② なす、きゅうり、じゃがいも、小松菜、たまねぎ、切り花、かぼちゃ、にんにく、大根
- ③ ・いろいろな野菜を考えて出荷するのが楽しみ。  
・消費者から「この前買った野菜はおいしかったよ。」と言われるとうれしい。

### ① 門馬 一 さん

- ② くり、なす（これからねぎ、かぼちゃ、大根、にんじん、里芋、白菜、アスパラガス等を出荷できそう）
- ③ ・土日の他に祭日も営業販売していけるよう野菜を多く作って、出荷したい。  
・これからも、野菜まつり等の定期的なイベントに積極的に参加し、直売所をPRしたい。  
・できるだけ農薬を使わないようにしている。



### ① 根本 茂 さん

- ② ねぎ、なす、八つ頭、にら、キクイモの乾燥、きゅうり
- ③ ・土日だけの営業のため、お客さんにわかりにくいので、生産者としては、もう少し日数を増やせるよう野菜を多く作って出荷したい。  
・地形的に見落としやすい場所にあるので、目に付くようなものの設置を組合に呼びかけていきたい。



お申し込み・  
お問い合わせ先

広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合では組合員を募集しています。

加入希望される方は、下記へご連絡ください。

広野町役場 産業グループ ☎0240-27-4163



「はいけい、たべちゃうぞ」

作：福島サトル 絵：はらだ ゆうこ

『第20回ニッサン童話と絵本のグランプリ』童話部門最優秀賞受賞

「友だち ぼしゅう。まずは、お手紙からー山の湖 赤い屋根のぶた ブーフ」  
町から山の湖のほとりに越してきたブーフは、友だちをつくるために掲示板に貼り紙をしました。早速届いた手紙には・・・

友だちをつくるって、人によっては勇気が必要なことなんですね。でも、その一歩を踏み出した彼と、受け入れてくれた彼。きっと良い友だちになることでしょう。

最後に爽快感があるお話です。



「ともだちからともだちへ」

作：アンソニー・フランス

絵：ティファニー・ピーク 訳：木坂 涼

ひきこもりなのに寂しがり屋のクマネズミに、ある日手紙が届きました。ところがその手紙、差出人の名前が書いてありません。手紙をくれた友だちの真意とは！？

友だちっていいなあと思える絵本です。こ

ういう witness は、日本人では思いつかないかも知れません。とにかく読んでみてください。いいお話です。



「世界一受けたい日本史の授業」

河合 敦

TV番組でも紹介されていたので、ご存知の方も多いだろうと思います。

本書は日本史について書かれていますが、対象は現役の学生さんではなく、大人です。今の教科書と我々が習った頃の教科書では、歴史認識が大きく異なる部分が多々あります。

特にショックだったのが、聖徳太子像、源頼朝像、足利尊氏の絵、蒙古襲来絵詞など、歴史の教科書でお馴染みのものが、実は別人である可能性が高いとか、後世に書き加えられた部分があるということです。

常識として覚えていたことが、実は間違いでした。あの時勉強したことは、一体何だったのでしょうか。

などと愚痴を言っても始まりません。実際に本書を読んでみると、前述のような驚きの新事実の他、今まで知らなかった事が書かれていたりして、とても面白いです。

知的好奇心のある人は、是非一度読んでみてください。



「Tears in Heaven」 t - ko

ちびまる子ちゃんに似た声を出す小児科医の先生、通称「まるちゃん」が登場する3つの話です。全ての話にまるちゃんが登場し、彼女が鍵となるのですが、まるちゃんに関わる患者さんや患者さんのお母さんの目を通して書かれています。

重いです。不治の病に冒された男の子の話、過去に犯した重い罪を背負い障害を持った赤ちゃんを育てるお母さんの話、自傷する少女の話。

全てが重いです。泣けて泣けてしょうがない。どうしてこんなに泣けるのだらうと考えてみると、多分悔しいんですね。現実にごこういう境遇の人たちがいたとして、それをどうにもできない自分が悔しい。

こんなに重いのに、大好きな作品です。悲しい話だけれど、単に悲しいだけではありません。



「ニャンコ、戦争へ」

文：菊池秀行 絵：平松尚樹

人の代わりに猫が出兵？

「吸血鬼ハンターD」等で有名な菊池秀行氏の作。ですが本作は、絵本として紹介されています。

戦争で人が死ななくて済むようにしたい。でも戦争はやめない。そんな人間の工場の犠牲になる動物たち。そして子どもは戦争の事実さえ隠す政府と大人たち。

事実を知った途端に見えてくる様々な出来事の原因。

現在進行形でベトナム人や東トルキスタン人が弾圧・虐殺されているという噂。それを全く報道しない日本のマスコミ。話に引き込まれつつも、頭の一部が現実と比較していました。

P31で終わる超短編の中に、とても重く濃い物語が詰まっています。ニャンコのチイコへの想い、「僕」のニャンコへの想い、そしてダブの人間に対する怒り、戦争に対する叫び。読み終えてから再び表紙の絵を見ると、また切なくなります。

ニャンコはどんな気持ちで戦場へ行ったのでしょうか。



「月の影 影の海上 十二国記」

小野 不由美

NHKでアニメが放映されていたので、ご存知の方も多いでしょう。中国のようで中国じゃない、別世界での長大な物語です。

日本の女子高生、中嶋陽子は「いわゆる」優等生。先生のうけも良く、クラスメイトともうまくやっています。表面的には、

そんな彼女の前に現れた、何者かに「タイホ」と呼ばれる男（実は人間ではありません）。「御前を離れず忠誠を誓うと誓約する。」そう言って陽子の前に平伏すタイホ。ここから物語は始まります。

何の説明も受けぬまま、違う世界へとたった一人で放り込まれてしまった陽子。たくさん人の裏切りに遭いながらも、次第に精神的にも成長していく過程が描かれています。

本書では、人の醜い部分が多く描かれ、読んでいくのが辛いかもしれません。しかし、長大な十二国記（まだ完結していません）を読むには、必要な過程です。そう、必要な過程なんです。十二国記の事を理解するために。

そして本当のおすすめである「凶南の翼」に辿り着いてください。



「婦系図 (おんなけいず)」 泉 鏡花

本作はなかなか見当たらず、探しに探しようやく手に入れた作品です。

舞台は明治時代。ジャンルは恋愛ものと単純に言ってもいいものかどうか、迷います。特権意識を持つ家族への、庶民による仕返しという復讐劇とも言えますが、やはり主題は恋愛でしょうか。

但し、昨今流行したような恋愛ものとは一緒にしてほしくありません。

これも時代設定の差でしょうか。お罵の一途さ、ひたむきさに泣かされます。最後の言葉が・・・

早瀬も先生も一体何を考えているのかと怒り心頭に発しますが、最後の最後で理解はしました。理解はしましたが納得はしていません。お罵が可哀相すぎます。

主人公は早瀬なのでしようし、その他にもいいキャラクターが出ていますが、私の中では本作の主人公は、お罵です。

古い作品ですが、是非ご一読を。昨今の「純愛」が陳腐に見えてくるほどの、本当の純愛があります。

■ お問い合わせ先

広野町図書室 ☎ 27 - 3211

11月の休室日のご案内

13日(火) 20日(火) 27日(火) (毎週火曜日)